

衛生管理方針

山形県立農林大学校畜産経営学科では、当校の教育目標と教育方針に基づき、乳用牛・肉用牛に係るすべての生産活動において下記の事項について、優先的かつ継続的に飼養管理の向上に努めます。

1. 私たちは、教育機関として畜産を担う学生の育成に努めるとともに、山形県民に「安全」な牛乳と牛肉をお届けすることで地域社会に貢献いたします。
2. 私たちは、生産する牛乳と牛肉の安全性を確保するために、農場 HACCP 認証基準に基づいた衛生管理システムを構築、維持し、継続的改善を行い、必要に応じて更新することに努めます。
3. 私たちは、衛生管理方針、食品に関する法令、条例、規則を遵守します。
4. 私たちは、牛乳と牛肉の安全性を確保するため、畜産経営学科の全学生及び職員に衛生管理の重要性を認識させ食品安全に関する知識の向上に努めます。また、日々の授業や実習において情報の共有に努め意識統一を図る活動を行います。
5. 私たちは、畜産経営学科の全学生と職員に衛生管理方針を周知徹底します。また、健康な牛を飼養するため飼養管理上の目標を定め、衛生管理システムを運用し、実績を検証し、システムの改善を行います。
6. 私たちは、この取り組みを広く山形県民にご理解頂くため、開設しているホームページを通じて「衛生管理方針」やその他の情報を公開いたします。

平成29年 8月 24日

山形県立農林大学校 校長 石川一夫